

観音前遺跡 第51地点

遺跡名	観音前遺跡
よみがな	かんのんまえいせき
調査地点	第51地点
主な時代	弥生時代後期（約1800年前）
調査地	富士見市大字水子2846-1の一部2849-2
調査面積	1421.49 m ²
調査期間	平成31年4月8日～4月15日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 弥生時代後期の竪穴住居跡1軒</p> <p>【出土した主な遺物】 弥生時代後期の台付甕</p> <p>【概要】</p> <p>観音前遺跡は、新河岸川と柳瀬川の合流地点に近い台地縁辺部に位置し、荒川低地と柳瀬川により開析された谷津に張り出すように延びた台地先端部に立地しています。</p> <p>今回の調査で弥生時代後期の竪穴住居跡1軒が確認され、住居内からは焼けた土である焼土塊や木材が炭化した炭化材が検出されています。これは、住居の廃絶時に要らなくなった家屋の木材を住居内で焼却したものと考えられます。</p>



確認された竪穴住居跡内の焼土塊と炭化材



丸材と思われる炭化材が出土しています



弥生時代後期の竪穴住居跡完掘状況



炉跡に貼付された粘土塊